

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌710番「罪の世人らに」
(心に感謝をもちながら) (み手の中で)
「3つの愛」「365日の信仰宣言」

聖 書 ①② 創世記2章1～7節 (P2)
③ 使徒行伝2章17～21節 (P182)

音 楽 サインダンス(V)

メッセージ ①② 「人生は一箱のマッチに似ているか？」坪井永城副牧師
③ 「そのとき、みな救われる」 大川従道主任牧師

賛 美 「わが行く道」(讚美歌494番) 献金
頌 栄 「主の栄光宮に」 アーメン
祝 禱

「それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。」
(使徒行伝二の二十六・新改訳2017)

【大和ニュース】

- ☆今日は「花の日」。“野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい”(マタイ6の28)
- ・ 本日、SS 主任会(12:45)、学生・青年会(14時・森)、ヤングチャペル(14時半・泉)。
第四礼拝(18時)説教は船山師。礼拝堂のスペースは十分、コロナ対策もしています！
 - * 東京カルバリーフェロシップは、本日午後4時。・21世紀教会にて(案内図は受付)
 - * 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は小林師、証は新田姉。
 - ・ 土曜は花がいっぱい。会堂掃除、聖歌隊練習(13時半・泉)、プレミアムクワイア(14時・森)。
 - ☆ご婚約おめでとう！幡地様と高見澤様。第3礼拝後、泉チャペルにて。
 - * 主日礼拝人数 ①82人(279) ②181人(185) ③239人(359) ④21人=1346人
定例祈禱会 水曜63人(188)・木曜93人(96)=440人 ※()内はYouTubeのライブ人数
 - * 来週日曜、各礼拝後「アブラハム会」は講壇前で写真撮影を致します。お集まりください！

石の枕

私はこの地上で生かされたのは「80年」、これから生かされるであろう年月は、過去と比べればわずかである。それは確かなことである。そこで毎日、寸暇を惜しんで、学び祈り奉仕に励んでいる。理由は、天に召されて、主イエス様にほめてもらいたいから、また両親や先に召された妹や2人の娘たちや信仰の先輩たちに喜んでもらうためである。文字通り全力で生きている。

ポイントは「神を第一にする」「神に喜ばれる生き方をする」。これが13歳で救われ、受洗してから、自分に言いきかせてきたことである。

ごく最近、三浦綾子さん夫妻のことを考えて、よし、もう一度「三浦全集」を読み込んでみようと決心した。すばらしい宝の山の発見の日々である。

先週読んだ本に『この病をも賜(たまもの)として』(角川文庫)がある。これは、1994年に出版された日記(日基督教団出版局)である。特に、あとがきと宮嶋裕子さんの解説が深い。宮嶋さんは綾子さんの初代秘書である。

「生きるということは、私は悲しみや苦しみに耐えることであると同時に、平凡な日常を切り捨てずに、深く大切に生きることであると思う。私は平凡な日常という言葉に対して、事実本当にこの世に平凡な日常というものがあり得るのか、神が創り給うたこの世に、一日たりとも平凡な日等あり得ないのではないか、と思わずにはいられないのである。」

解説:綾子は「神様は愛の方である。その神様が不要な人を誕生させるはずがない」と考えた。「たとえば、人の短所は見方を変えると長所になると思う。」

彼女は「病気の問屋」といわれた。肺炎、肺結核、脊椎カリエス、血小板減少症、帯状疱疹、直腸癌。本書の終わりの方で、難病パーキンソン病にかかって次のように書いている。「これは今年の、神さまからのクリスマス・プレゼントかもしれない。私が自分に下さる神の賜(たま)ものを、従順に受けとめる力が与えられるようにと、心ひそかに祈った」と。愛の神様が、悪いようになさるはずがない、と全き信頼もて生きぬいた。これが神に信頼されて大きく用いられた要因であろう。病床でくりかえし歌った讚美歌は、「わが行く道、いついかに、なるべきかは、つゆ知らねど、主はみ心なしたまわん」アーメン！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ヨハネ19章～使徒3章 Bコース:エズラ1章～ネヘミヤ8章